

地域のかお シリーズ106

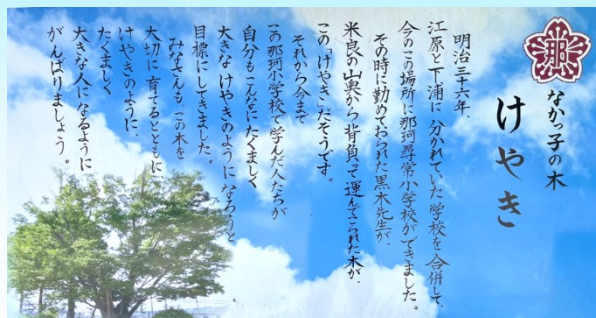
「那珂小ファミリー」の実現を目指して

宮崎市立那珂小学校
校長 川島 博嗣

本校の正門を入ると右手に、大きな木がそびえ立っています。この木が、なかつ子の木である「**けやき**」です。けやきの近くには看板が設置されており、その歴史が記されています。文の最後に、『けやきのように、たくましく大きな人になるようにがんばりましょう。』と書かれています。



【けやき】



【けやきの歴史】

この伝統と歴史を受け継いで、本校の目指す子ども像は、以下のとおり「**けやきっ子**」です。毎月の全校朝会においては、「けやきっ子」を紹介しています。7月の全校朝会では、「けんこうで元気いっぱいの子ども」として、いつも元気なあいさつができている班（新木地区）の子どもたちを紹介しました。

けんこうで元気いっぱいの子ども
やさしく思いやりのある子ども
きちんと学習できる子ども

【本校の目指す子ども像】



【元気なあいさつができている子どもたち】

さて、本年度の学校通信を「**那珂小ファミリー**」と名付けました。これは、教職員、保護者と地域の方々が家族のような存在となり、三者が一体となって那珂小学校の子どもたちを支えていこうという思いが込められています。

現在も、多くの地域の方々に支えられながら教育活動を展開することができています。毎朝、登校の時

間にあわせて早くから、佐土原那珂地区の民生委員児童委員である白坂 俊二 様が、校門前や通学路に立ってくださっています。本校の子どもたちは、地域の方に守られています。また、6月から読み聞かせが始まりました。毎週月曜日と金曜日の朝の時間に、藤崎 義昭 様をはじめとする読み聞かせボランティア「ぼけっとの会」の方々に来校いただいています。子どもたちは、この時間をとても楽しみにしています。今後とも、那珂小ファミリーとして、よろしくお願いいたします。



【登校見守りの様子】



【読み聞かせの様子】

本校は、「**コミュニティ・スクール**」です。先に述べましたとおり、学校が抱える様々な課題を、地域の方々と深く関わりながら解決していけたらと考えています。那珂地区は、現在も学校と地域が協働する姿勢があり、互いに連携を図りながら教育活動が展開されています。コミュニティ・スクールを更に充実させることにより、本校が「宮崎市立」とあると同時に、「地域立」という新しい運営形態の学校になっていくことを期待しているところです。

学校におきましては、地域の方々から支援を受けるだけでなく、積極的に**地域貢献**をしていく必要があると考えています。学校にできる地域貢献については、今後、地域の方々と情報交換をしながら検討して参りたいと考えています。地域の皆様方におかれましては、今後とも本校の教育活動に対するご理解とご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

